



進路だより



大阪府立東淀川支援学校 令和 8年 2月 19日 第10号

中 2 職業講話

本校では中学部 3 年生になると、例年、職業体験学習として「校内班」「キャリアセンター班」「企業班」に分かれて実習を行います。その事前学習の一環として、1 月 29 日(木)に大阪市立キャリア教育支援センターのジョブコーチ西岡清先生がおいてになり、中学部 2 年生を対象に「『働く』とは？」をテーマに話してくださいました。

ことばづかい、時間を守るということ、やりとげること、協力すること…『働く』ことは、学校での生活の延長線上にあるということをお話いただきました。

また、「キャリアセンター班」が実際に職業体験学習で作成する『箱』や『おしぼり』『ノート』などを持ってきてくださっていたので、それを触らせてもらうと、「え～、こんなんどうやって作るの～?」「めっちゃきれいやん!」とみんな大興奮!来年度への期待が膨らみました。来年度の職業体験学習までにしっかり準備をして臨みたいと思います。

高2出前授業

1 月 21 日(水)、シャープ特選工業株式会社より講師をお招きし、C 班・D 班を対象に出前授業を実施しました。

今回のテーマは、「チームワークとは何か」を実際の作業を通して体感することです。授業では、4 名ずつのグループに分かれ、商品の梱包作業に取り組みました。

はじめに講師の先生から説明を受けた後、作業手順を確認し、各グループで話し合いながら役割分担を決定しました。生徒たちは、それぞれが自分の役割に責任をもち、最後まで真剣に作業に取り組む姿を見せられました。特に印象的だったのは、1 年生の頃から学び続けてきた「報告・連絡・相談」を、必要に応じて自然に実践できていた点です。

また、一度決めた役割に固執するのではなく、作業の途中で支障が生じると、自分たちで気づき、話し合いながら役割を変更したり、あえて協力体制のバランスを調整したりすることで、完成品の増産につながる場面も見られました。1 年生の頃の不安げで遠慮がちな様子はもはや見られず、生徒たちの大きな成長に、私たち教員も驚かされました。

2 年生の 3 学期は、「3 年生のゼロ学期」とも言われる大切な時期です。進路選択を直前になって慌てて決め、「これでいいか」と妥協することのないよう、今のうちから自分自身と向き合い、真剣に悩み、考えてほしいと願っています。

高3出前授業

1月30日(金)に、「淀川地域障がい者就業・生活支援センター」の職員に来校いただき、高等部3年生の一部の生徒を対象に、「働くってなんだろう?」をテーマにした出前授業を実施しました。

前半は、淀川地域障がい者就業・生活支援センターについて教えていただきました。このセンターは、障がいがあり、働くことに悩みや不安がある方の相談を行っている機関で、「働くための準備」「仕事探し」「定着支援」など、就労前から就労後までさまざまな相談が可能です。

後半は「働くとは」というテーマで、何のために働くのか、学校と企業(事業所)の違いは何かなど、生徒たちに質問を投げかけ考える時間を設けながら講義をしていただきました。講義の中で、クイズ形式で質問をしていただいたので、生徒たちは楽しみながら、理解を深める機会になりました。

出前授業終了後の生徒の感想文から、いくつかご紹介させていただきます。

- ・働くための準備や仕事探しの方法がわかりました。
- ・人から指示を受けるときに、相手の目や口元を見て聞くんだとわかりました。
- ・仕事は体力、やる気、相談、挨拶、言葉遣い、色々と学んでしっかり臨んで行きたいと思います。
- ・今年の4月からA型事業所で働くことで、学校とは違って、休憩時間が違う、仕事を頑張ったら給料をもらうことができる。
- ・今日の話聞いていつか自分が働くにあたって上司の話一回聞いていただけではどちらかが自分も分からなくなってしまうことは必ずあるからメモをとり、恥ずかしがらずに色々な人に頼って相談しようと思いました。
- ・色々な所に相談できるんだと思った。働いたら自分の好きなことをできると思った。誰にでも相談していいんだと思った。

今回の出前授業は、3年生にとって卒業後に支援を受けられる機関を知る機会となりましたので、困ったときには積極的に活用してもらいたいと思います。

